

願いをこめて夜空に舞い上がる 上桧木内の紙風船上げ

西木町上桧木内の小正月行事「上桧木内の紙風船上げ」が2月10日、紙風船広場(上桧木内大地田地内)で開催され、同地区8つの集落が約2ヶ月かけて制作した100個余りの紙風船が次々と冬の夜空に舞い上がりました。

紙風船上げは、江戸時代の科学者である平賀源内が、銅山の技術指導に訪れた際に、熱気球の原理を応用した遊びとして伝えたとも言われています。

最下部のタンポ(灯油をしみこませた布玉)に火が灯されると、紙風船に描かれた武者絵や美人画、「家内安全」「商売繁盛」「交通安全」「合格祈願」など願いをこめた文字が幻想的に浮かび上がり、ゆっくりと揺れながら夜空に舞い上がる様子は優美で、訪れた観光客らを魅了。夜空に浮かぶ灯りをいつまでも見上げていました。



山形県戸沢村から参加した紙風船



今年は秋田わか杉国体開催年とあって、キャラクターのスギッチを描き国体を応援する風船も目立ちました。

